

本市では、子育てにかかる経済負担の軽減とお子さまの健康維持を目的として、小学校6年生までの通院分と中学校3年生までの入院分のうち、保険診療により保護者が支払うべき自己負担分の全額を公費(税金)で負担し、保護者負担を無償としています。この負担額が、年々増加しており、平成24年度には約2億5,700万円となりました。現在、この負担額を少しでも抑制できないか検討しています。

問1 現在、公費による小児医療費無償化の今後のあり方を検討していますが、今のまま維持することで財政負担が増加すれば、その他の子育て支援サービスを廃止、縮小せざるを得ない場合があります。それでも無償化の維持は必要と考えますか。【〇は1つ選んでください。】

1. 必要である
2. 他のサービスが廃止・縮小するなら見直しもやむを得ない

問1で「2」やむを得ないと回答した方にうかがいます。

▶問2 次のうちどのような見直しが望ましいと考えますか。【〇は2つ選んでください。】

1. 資格証に代えて枚数に限りのある受診券(クーポン券)の交付
2. 償還払い制度の採用
※償還払い・・・医療機関で一旦自己負担分を支払い、その後市へ申請し返還を受ける
3. 所得制限の導入
4. 一部負担金の徴収
5. 時間外診療の割増料金を自己負担に
6. 対象年齢の引き下げ
7. その他()

問1で「2」やむを得ないと回答した方にうかがいます。

▶問3 あなたがより充実してほしい子育て支援サービスは何ですか。【〇は3つ選んでください。】

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 予防接種費用の助成 | 7. 妊娠から出産までの相談支援の充実 |
| 2. 保育所の定員増 | 8. 病児・病後児保育の充実 |
| 3. 保育所入所条件の緩和 | 9. 保育所の増設・改築 |
| 4. 一時預かりサービスの充実 | 10. 幼稚園の預かり保育の充実 |
| 5. 子育て支援センター、つどいの広場等の増設 | 11. 親子クラブや子育てサロンの活動支援 |
| 6. 放課後児童クラブの定員増 | 12. その他() |

最後に 小児医療費公費負担制度に関し、ご意見がございましたら自由にご記入ください。